

# 施策・基本事業評価表

優先度: 成果＝高。財源＝低。●地域支援課、福祉事務所、消防総務課

番号	施策名	施策の対象	施策のねらい	区分	施策の成果指標(単位)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	25年度	26年度	28年度 (目標値)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等
6-3	市民との協働による防災体制の充実	市民	住民、地域、行政の防災体制が整備され、災害時の市民の生命・身体・財産が守られている。	成果	防災体制が整っていると思う市民の割合(%)	85.7	86.8	88.3	89.2	91.5	91.1	87.8	↑	87.6	88.6	90.0	↑	順調	満足度が着実に上昇しており、評価としては順調と言える。自主防災組織設立に向け地域の役員を中心に防災について協議する中で、市民が筑後市の防災体制について理解する機会が増えたことや北部防災拠点施設整備計画、防災倉庫建設及び非常食の備蓄等が広報等で周知されたことが大きな要因と考えている。	平成27年度までに全校区で自主防災組織を結成できるよう推進していく。また、自主防災組織の育成や校区単位の防災訓練実施を通じ、防災意識の向上に繋げていく。 防災メールまもるくんの登録推進を行政区単位で実施するすることで、筑後市の防災体制について周知する場に繋げていく。
				成果	災害時の備えを行っている市民の割合(%)	33.5	34.6	31.2	35.7	40.9	44.3	39.8	↑	41.5	41.6	46.2	↑	順調	成果指標が4.6ポイント増加しており、評価としては順調と言える。筑後市総合防災訓練及び校区防災訓練の参加人数が平成25年度に比べ500名程度増加しており、自主防災組織が結成されたことで市民の防災意識の向上に繋がった結果として、災害に対する備えをしている市民が増加したと考えている。	平成27年度までに全校区で自主防災組織を結成できるよう推進していく。また、平成28年度には水防法の改正により筑後市安全安心マップの更新及び全戸配付を予定しており、更なる成果指標の向上が期待できる。

番号	基本事業名称	本事業の対象	基本事業のねらい	区分	基本事業成果指標(単位)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	25年度	26年度	28年度 (目標値)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等	
01	防災意識の向上	市民	啓発の充実などで、市民の防災意識が高まり、災害に対する備えができていく。	成果	災害時の備えを行っている市民の割合(%)	33.5	34.6	31.2	35.7	40.9	44.3	39.8	↑	41.5	41.6	46.2	↑	順調	成果指標が4.6ポイント増加しており、評価としては順調と言える。筑後市総合防災訓練及び校区防災訓練の参加人数が平成25年度に比べ500名程度増加しており、自主防災組織が結成されたことで市民の防災意識の向上に繋がった結果として、災害に対する備えをしている市民が増加したと考えている。	平成27年度までに全校区で自主防災組織を結成できるよう推進していく。また、平成28年度には水防法の改正により筑後市安全安心マップの更新及び全戸配付を予定しており、更なる成果指標の向上が期待できる。	
				成果	避難場所を知っている市民の割合(%)	22.9	23.9	23.8	24.7	27.8	27.5	27.1	↑	31.4	31.7	37.0	↑	順調	成果指標が5.3ポイント増加しており、評価としては順調と言える。各校区で実施した防災訓練参加者が400名程度増加したことにより、避難場所を確認できた市民が増加した結果と考えている。	平成27年度は全校区で防災訓練の実施と自主防災組織結成できるよう推進し、市民の防災意識の向上に繋げていく。	
02	防災・災害情報機能の充実	市民	市民が、正確な防災・災害情報を入手することができ、災害に適切に対応できる。	成果	情報入手方法を知っている市民の割合(%)	41.5	31.9	30.6	36.6	38.0	36.7	42.8	↑	41.8	40.8	43.3	↑	順調	成果指標は2.5ポイント増加しているため、順調と判断している。災害情報入手手段として、県からの携帯電話メール以外は前年同様の認知度である。成果指標が増加した要因として、平成26年度より市として「防災メールまもるくん」を推進した結果、認知度が20.0%から27.7%へ増加したと考えている。	平成27年度は全行政区の役員会及びデイサービスで「防災メールまもるくん」の登録推進を行うため、成果指標の向上が期待できる。	
				代替	防災・災害情報について市からの情報提供をする媒体数(種)	-	-	-	-	-	5	5	-	-	5	6	7	7	目標達成	①コミュニティ無線②行政区長への電話連絡③ホームページ④広報車による市内巡回⑤携帯電話緊急速報メール⑥防災メールまもるくん⑦戸別受信機	近隣市町村を参考に市民に有効な情報提供手段の検討(スマホのアプリ等)を行う。
03	自主防災組織の組織化と充実	市民	地域において災害時における協力体制が確立されている。	成果	自主防災組織数(団体)	0	0	0	0	0	0	0	-	0	1	7	5	目標達成	評価としては目標達成である。平成25年度より校区自主防災組織設立推進を行っており、結果として平成26年度までに8校区で組織結成がなされた。補助金申請は7校区が行っており、残る1校区についても平成27年度申請予定となっている。	平成27年度までに全校区で自主防災組織を結成できるよう推進していく。また、自主防災組織の育成や校区単位の防災訓練実施を通じ、防災意識の向上に繋げていく。	
				成果	要援護者避難支援計画(個別計画)が策定された要援護者数(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	433	409	379	500	不調	平成26年度は民生委員会等へ制度説明を行い、新規登録者が年10名程度あったが、死亡や施設入所等で要援護者数総数が減少しており、評価としては不調である。新規登録者が増えない理由として、地域で支援者確保が整備できていないことが大きな要因である。	平成27年度は全行政区のデイサービスで災害時要援護者制度の説明を行い、登録者の増加に繋げていく。また、校区自主防災組織が地域支援組織として機能するよう育成していく。
				成果	防災訓練等への参加者数(人)	222	260	120	416	307	380	1,735	300	1,434	1,514	2,046	400	目標達成	・市総合防災訓練参加者: 650名(開催日: 平成26年6月1日) ・各校区避難及び情報伝達訓練: 1,396名 ※11校区中9校区で実施	平成27年度末までに全11校区で自主防災組織ができるよう推進しており、全校区で訓練が実施されるよう推進していく。	

番号	基本事業名称	本事業の対	基本事業のねらい	区分	基本事業成果指標(単位)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	25年度	26年度	28年度 (目標値)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等	
04	消防団の充実強化	市民 消防団員	災害時に、迅速な消防・防災活動ができる体制が整備されている。	成果	平時にすぐに消防活動ができる団員の割合(%)	38.9	37.8	38.9	41.5	42.1	43.0	46.3	45.0	43.6	43.1	47.0	45.0	横ばい	ここ数年横ばい状態にある。全国的に、消防団員に占める被雇用者いわゆるサラリーマンを職とする団員が増加し、現在は約7割となっており、その傾向は筑後市においても同様である。	消防団協力事業所と連携し、平時における災害出動率の向上、将来的な消防団員の確保を図る。そのため、広報誌やHPを活用した、また関係団体(防災協会や消防設備士会等)との会議等において、消防団協力事業所制度の普及啓発に努め、推進していく(協力事業数を増やす)。	
05	災害時における行政による支援体制の整備	市民	避難場所設置などの支援体制を整備することにより、災害発生時において、市民の安全が確保されている。	成果	災害協定締結件数(件)	3	3	3	3	7	12	22	6	25	42	45	20	目標達成	平成26年度は避難所関係(2施設)や地図製品関係(1企業)と協定締結しており、判断としては目標達成している。	災害時に備え市内の食品関係企業と災害時応援協定締結できるよう取り組んでいく。	
				成果	自主避難場所収容能力の充足率(%)	8.1	8.1	8.1	8.1	7.6	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	目標達成	近年、指定避難所拡充を図っているが、自主避難所拡充は図っていないため成果指標は昨年同様であるが、判断としては目標達成である。	自主避難所の大半は小学校体育館であるが、冷暖房設備が無いや居心地の悪さなどの理由から自主避難書変更が必要と考えており、地元の意向を踏まえながら準備を進めていく。(避難所が公民館等に変更された場合、収容能力は減少)
				成果	災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員割合(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	28.7	—	27.6	29.9	32.8	↑	不調	平成24年7月の九州北部豪雨以降、職員の防災意識の向上により①知っという具体的な行動がとれる割合が微増しているが、全体の30%程度であり、判断としては不調である。